

◎ 海岸地域のよりよい環境づくりに向けて

問 海岸侵食が進む中、現在の防潮堤は東海地震の津波に対し大丈夫なのか。

答 東海地震の第3次地震被害想定は津波の高さが3.6mから5.3mで、浅羽海岸の堤防の高さは6.2mである。震源域が変わったこと、海岸侵食などがあるので引き続き県へ再調査の働きかけをしているところである。

問 海岸保安林とグリーンウエーブ地は草や木が繁茂している。さらなる管理体制が必要と思うがどうか。

答 管理者である県へ、整備について要望したいと考えている。基本的なところは県がやるべきと認識している。グリーンウエーブ地の管理については当面は現在の方法を続けていきたいと考えている。

問 合併特例債対象事業の一つに掲げられている海浜公園整備計画の取り組み状況は。

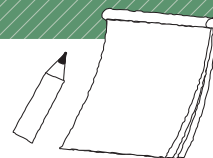
答 計画策定に向け準備を進める段階である。海岸線の緒課題について、事業を推進し、後期基本計画の中で広く市民の意見を聞きながら取り組んでいきたい。



草木が繁茂している保安林

常任委員会レポート

平成21年度一般会計補正予算や条例の一部改正などの議案を各常任委員会で審査しました。



Q 特別支援教育の支援員は今年度中に雇用するのか。

A 小学校の支援員は現在10名であるが、それでは不十分であるので今年度中に4名増員をするものである。



特別支援教育の支援員が配置されている小学校

総務文教委員会

Q 副市長2名制になるが、そのうち1名については直近の行政課題の担当であるとのことだが、その課題が解決すれば1名に戻すことを考えているのか。

A 直近の行政課題とは病院のことであるが、新しい病院ができ、今の袋井市民病院が将来構想の形で4年後にスタートできれば、通常の副市長1人制に戻すべきと考えている。